



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2010年5月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

平成22年度診療報酬改定と 地域連携

医事課長 清水 孝夫



今回の診療報酬改定で、重要課題としているのが、
○ 救急、産科、小児、外科等の医療の再建
○ 病院勤務医の負担の軽減（医療従事者の増員に努める医療機関への支援）
の2つで、更に、基本方針として、次の4つの視点が挙げられています。

- 1 充実が求められる領域を適切に評価していく視点
- 2 効率化余地があると思われる領域を適正化する視点
- 3 医療と介護の機能分化と連携の推進等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
- 4 患者からみて分かりやすく納得でき、安心・安全で、生活の質にも配慮した医療を実現する視点

医療機関の連携に関しては、いわゆる「たらい回し」問題の顕在化を受け、地域の医療機関と病院の連携による救急患者の受入れが評価されたほか、増え続ける急性期後の需要の受け皿としての後方病床・在宅療養の機能強化などに手厚く点数が配分されました。

- ・地域連携による救急患者の受入れの推進については、救急医療機関からの5日以内の転院を対象とした加算（救急搬送患者地域連携紹介加算500点、救急搬送患者地域連携受入加算1000点）が新設され、救急への対応が強化されました。
- ・急性期後の受け皿については、後方連携への評価として、有床診療所の一般病床や療養病床について、急性期医療を担う病院からの入転院患者の受入についての評価が新設されたほか、在宅復帰後を見越した地域連携の評価として回復期等の病院を退院した後の療養を担う医療機関・介護施設等との連携を含めた地域連携パスの評価（地域連携診療計画退院計画加算100点、地域連携診療計画退院時指導料11300点）を手厚くするなどしています。
- ・また、視点として掲げられている、「充実が求められる領域への対応」としては、がん診療連携拠点病院等と地域の医療機関の連携の充実として、がんの地域連携パスへの評価（がん治療連携計画策定料750点、がん治療連携指導料300点）が新設されています。

このように今回の改定では、地域の連携に手厚い評価がなされましたが、今後高齢化が進み更に医療需要が膨らむことを考えると、介護事業者など多種の機関との連携など、地域連携がますます重要になってくるものと思われます。

当院におきましても、これらの連携が早期に軌道に乗るよう努力してまいりたいと考えておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

Contents

平成22年度診療報酬改定と地域連携	1
研修・講演・勉強会のご案内	2,3
5月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	3
診療所・病院・施設訪問	4
『がん・なんでも相談室』から	5
平成22年度第1回救急事例検討会報告	5
医師不在のお知らせ	5
富山市救急医療センター建設に伴う	
第一駐車場改修工事のご案内	6
ふれあい看護体験	7
第1回腎臓病教室を開催しました！	7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ	8
編集後記	8

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

6月

日時：6月8日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

①ミニレクチャー：術前の禁煙に関するアンケート調査



麻酔科

加藤 晋

（目的）

術前の喫煙状況と患者の理解度を把握する。

（対象と方法）

予定手術患者1271人のうち喫煙習慣のあった130人にアンケート用紙への記入を依頼した。

（結果）

平均喫煙本数20本/日、喫煙歴申告率79%、麻酔科受診時の禁煙率62%、麻酔科受診時点での禁煙期間4±7日間、①初診時から、②手術決定から、③初回禁煙指導から麻酔科受診までの平均期間はそれぞれ①53日間、②25日間、③23日間であった。

麻酔科受診前の認識（手術時は特に悪いと思う56%）、麻酔科受診後の認識（重要性を知っていたら禁煙したと思う48%）、禁煙の理由（手術をきっかけに禁煙する53%）、禁煙していない理由（必要と思うができなかった57%）

（考察）

禁煙の重要性の理解は十分とはいえない。手術決定時点から禁煙できたとしても十分な禁煙期間が得られない可能性が示唆され、手術に結び付く前から患者を啓発していく必要があると思われる。

②症例検討

・A型劇症肝炎の1例

紹介医；前川クリニック 前川 裕先生 消化器内科 樋上 義伸

・下腹部痛と下腹部腫瘍で紹介された卵巣胚細胞腫瘍破裂の一例

紹介医；高峰クリニック 高峰利充先生 産婦人科 金枝麻美子

7月

日時：7月13日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

CPC：「直腸癌術後に突然心肺停止を来した1症例」

2. 内科CPC

日時：6月15日（火） 17：30～

場所：講堂（集団指導室に変更になる場合もあります）



3. とやまレントゲン読影会

日時：6月18日（金） 19：00～20：00

場所：集団指導室



4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：6月3日（木） 17：30～18：30

場所：集団指導室



○テーマ 糖尿病の治療

○講師 内分泌内科 高櫻 明子医師

5. 感染予防対策学習会

日時：6月7日（月） 17：45～19：00

場所：講堂



○テーマ 「滅菌・消毒・洗浄」

○講師 当院感染対策アドバイザー

波多江 新平先生

6. 緩和医療委員会・学習会

日時：6月8日（火） 18：00～19：00

場所：集団指導室



○テーマ グリーフケアとしてのエンゼルメイク

○講師 （公財）富山県アイバンク
組織移植コーディネーター
入江 真理氏

（公財）富山県移植推進財団
県移植コーディネーター
高橋 絹代氏

7. 睦美会 看護講演

日時：6月10日（木） 18：00～19：00

場所：講堂



○テーマ 子宮頸部がん予防ワクチン

○講師 金沢大学附属病院
産婦人科 井上 正樹教授

8. 接遇力向上研修会



日時：第1回 6月16日（水）13：15～16：00

第2回 6月29日（火）13：15～16：00

場所：講堂

○テーマ トラブルを未然に防ぐ接遇力と
院内コミュニケーション

○講師 当院接遇向上委員会委員長
置塩 良政医師

※接遇研修は、地域医療機関の方々との研修は初めて
になります。研修の詳細につきましては、別紙を同
封いたしましたので、ご参照ください。

9. 褥瘡対策学習会



日時：6月25日（金）17：45～18：45

場所：集団指導室

○テーマ 褥瘡のリスクアセスメント
褥瘡の看護計画

○講師 関口 聡子皮膚・排泄ケア認定看護師
花田 美紀看護師

10. NST学習会



日時：6月28日（月）18：00～19：00

場所：講堂

○テーマ 経腸栄養剤の種類と選択
静脈栄養剤の種類

○講師 吉畑 友香子管理栄養士
黒田 李花薬剤師

11. 看護研修



《 衛星研修S - QUE Eナース 》

日時：6月2日（水）18：00～19：20

場所：講堂

○テーマ 正しい酸素療法を知ろう 基礎

日時：6月16日（水）18：00～19：20

場所：講堂

○テーマ 人工呼吸療法を知ろう 応用

《 衛星研修S-QUE 新医療看護連携 》

日時：6月23日（水）18：00～19：30

場所：講堂

○テーマ 地域連携パス「がんPart2」

研修の横に対象となる職種マークをつけました。
お気軽にお越し下さい。



医師



看護師
保健師



介護支援
専門員



リハビリ



ケアに関わる
スタッフ



《連載企画》診療所・病院・施設訪問⑥2 滝 八木山医院

今回は「滝 八木山医院」を訪問させていただきました。

名 称	滝 八木山医院
住 所	富山市八木山56
医 師	瀧 邦康 先生
標 榜 科	内科・放射線科・小児科
診察日・時間	月～金 9:00～12:00、14:00～18:00 ・ 土 9:00～12:00
施 設 区 分	無床診療所

訪 問 記



滝 八木山医院前景



瀧先生



瀧先生と奥様

暖かな日差しが4月下旬、富山市八木山で開業されている「滝 八木山医院」へ訪問させていただきました。午前の診察を終えたばかりの時間にもかかわらず、瀧 邦康院長先生はじめ、スタッフの皆様方の優しい笑顔で迎えていただきました。

まず診察室へ案内していただきびっくりしたことは、放射線科専門医、核医学専門医である先生のデスクの上は、所狭しとパソコン機器が設置されており、X線撮影室には、CR、US、4列ヘリカルCTが装備され、患者さん1人1人のデータを“PACS”管理されていたことでした。当院の“たてやま医療連携ネット”をご利用いただいている先生から、「地域の患者さんの市民病院への受診予約や電子カルテの利用など、きめ細やかな連携を持たせていただき喜んでいきます。」とおっしゃっていただきました。先生には、本当に多くの患者さんをご紹介いただいております。

滝 八木山医院は、下大久保で滝医院を開業しておられるお父様の瀧 邦彦先生が、滝 八木山分院として開業され、平成7年2月1日に瀧 邦康先生が滝 八木山医院の院長となって受け継がれたそうです。先生は「(開業医は) 病院医と異なり、色々な疾病を有する患者さんが来院され、地域医療と密接に結びついております。かかりつけ医として地域に根ざした医療を目指す反面、

患者さんが住み慣れた地域で過ごすことができにくくなっているのが現状と感じております。」とお話いただきました。そして、平成11年に先生が副理事長、柳瀬整形外科院長 柳瀬 茂宣先生が理事長となり、社会福祉法人宣長康久会“特別養護老人ホーム ささづ苑”を設立されました。「この地域が一体となり、利用される方その家族の方に温かい介護サービスを提供したい。」という思いでスタートしたとのこと。施設はショートステイ、デイサービス、居宅介護支援センターを備え、平成21年4月には、特別養護老人ホーム(ユニット型)の定員増と大沢野・細入地域包括支援センターが設置されています。そして先生は、ささづ苑の配置医師としても大変ご活躍されています。

待合室に飾ってある絵画は、先生のお父様が描かれたものとのことで、(瀧先生ご自身も油絵教室に4月から通いはじめられたそうです) 画廊へ行ったような居心地の良い診療所内の雰囲気にとっても感激し、先生の地域医療への熱い思いをいつまでもお聞きしたい気持ちを抱きながら、病院への帰路につきました。

『がんについて学ぶ会』のお知らせ

6月18日（金）より、第3回市民公開講座「がんについて学ぶ会」を開催いたします。参加者を10人程度の少人数とし、質問しやすい雰囲気で行いたいと考えています。診療所に通院されている患者さんやご家族、介護スタッフの皆様など、がんについて学びたい！と考えていらっしゃる方に参加していただきますよう、ご案内いたします。

参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

なお、全部の講座に参加されることも可能ですが、希望される講座のみの参加も受け付けております。お気軽にご相談ください。

「がんについて学ぶ会」参加申し込み先

富山市民病院 がん・なんでも相談室 担当：島田 真理子

TEL：076 - 422 - 1112（代）

FAX：076 - 422 - 1154（ふれあい地域医療センター）

「がんについて学ぶ会」

日時	テーマ
6/18(金)	がんの予防と 胃がん・大腸がん・乳がん の治療
6/25(金)	痛みを和らげる方法
7/2(金)	がんと食事
7/9(金)	高額療養費制度について
7/16(金)	在宅で受けられる 医療・生活支援サービス
7/23(金)	がんと上手につきあう方法

6/18は 午前11：00～12：00

その他は午前11：00～11：30

平成22年度第1回救急事例検討会報告

5月10日（月）午後5時30分より平成22年度1回目の救急事例検討会が、消防局47名、市民病院43名、丸の内にある富山市救急医療センターより看護師2名の計92名参加のもと、開催されました。

今回は救急科部長野田医師の司会進行のもと事例検討とレクチャーがありました。

事例検討はアナフィラキシーショックと急性心筋梗塞を発症した1例について、循環器内科寺崎敏郎医師より説明がありました。心電図の変化や、臨床経過を資料にして通報から緊急カテ、ICU入院そして一般病棟へと、抗ヒスタミン剤やステロイドの使用により病状の改善が図られた報告でした。

次に小児科西浦医師より、小児のCPAで小児の心停止の原因として換気障害に伴う心停止の比率が大きいことについて、次に熱性けいれんによるけいれん重積の対応や留意点など、現場に適應するレクチャーがありました。参加された皆さんからは、活発な質疑応答や意見がありとても有意義な事例検討会でした。



医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

6月分

科 名	不 在 日	医 師 名	科 名	不 在 日	医 師 名
内 科	21日	林	整形外科・関節再建外科	7日・8日・10日	島
	15日	石 浦	麻 酔 科	3日・4日	永 川
	17日	大 田		3日・4日	加 藤
	11日	蓑 内		3日・4日	青 山
呼吸器・血管外科	10日	峠	小 児 科	7日・8日・9日・10日・ 11日	三 浦
	16日、17日	草 島		16日・17日・18日	金 田
外科・乳腺外科	17日	廣 澤		19日～産休	舌 野
	23日・24日・25日	福 島			
小 児 外 科	18日・25日	岡 田			

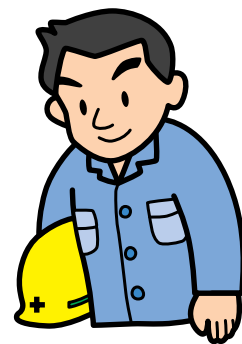
※ その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

富山市救急医療センター建設に伴う 第一駐車場改修工事のご案内

平成23年度に開設予定の「富山市救急医療センター」の建設が当院敷地内（第一駐車場南側）で始まっております。

つきましては、建設に先立って事前に次の工事を予定しており、第一駐車場が混雑した場合は、係員の誘導に従い第二駐車場をご利用いただきますようお願い申し上げます。

ご来院の皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



工事予定

1. 第一駐車場出入口改修工事

平成22年4月20日（火）
～5月31日（月）

2. 第一駐車場ゲート移設及び 関連工事

平成22年4月20日（火）
～6月15日（火）

3. 入退院出入口渡り廊下増築工事

平成22年5月10日（月）
～7月15日（木）



既設第1駐車場（現状及び工事箇所）



- ①第一駐車場出入口改修工事
- ②第1駐車場ゲート移設及び関連工事
- ③入退院出入口渡り廊下増築工事
- ④自転車置場建築工事

ふれあい看護体験



看護の日・看護週間に合わせて、堀川小学校の6年生112名が5月17日、18日、20日の3日間にわたって看護体験をしました。

3～4名のグループに分かれ、各病棟で看護師の指導のもと患者さんの髪や手足を洗ったり、車椅子での移動を体験したり、お互いに血圧を測り合ったりといろいろなことに挑戦していました。病院には初めて来るといふ子供たちも多く、大変緊張しているようでしたが、患者さんから「気持ちよかった、ありがとう。」と声をかけられ、その感想を聞くと「うれしかった。ドキドキし

た。」などと、はにかみながら答えてくれました。また自分たちで血圧を測ったり、聴診器を使って自分の心臓の鼓動を聞いて、驚きの声を挙げていました。

病院内の見学にも興味を示し、薬局、レントゲン室、リハビリ室、手術室、救急センターなど病院の中にはいろいろな専門職の人が患者さんのために働いているのだと感じているようでした。また、新生児室前では、赤ちゃんをみて「かわいい～。小さ～い。」と言いながら、窓ガラスに顔を寄せ夢中で覗き込んでいました。

今回の看護体験で、患者さんとふれあい、誰かのために働くことはたいへん素晴らしいこと、また『命』の大切さを感じてもらえたようで、患者さんをはじめ職員も、子供たちの明るく元気な笑顔や挨拶に楽しい時間を過ごすことができました。



第1回腎臓病教室を開催しました！

5月19日（水）14時30分より、患者さんやご家族、地域医療機関の方々を対象として、第1回腎臓病教室を開催しました。腎臓病教室は「慢性腎臓病の疾患や治療法を理解することで生活習慣を改善し、病気の進行を遅らせる」ことを目的として、年に3回程度開催しています。今回も、医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師などが講義しました。合計2時間の講義で

したが、参加された方々は熱心に聞いていらっしゃいました。終了後に「日頃の食事の味は濃いことが理解できた」「腎臓病や血液透析のことがよくわかった」という声が聞かれました。生活習慣の改善は患者さんの強い意思を要します。教室を定期開催し、精神面でも支えていきたいと思ひます。

今年度の腎臓病教室は、今回を含め3回開催する予定です。今後の予定は以下の通りです。開催期日の前月には「れんけいと支援」に研修案内を掲載いたします。



- ・ 第2回 平成22年10月20日（水） 14：30～16：30
- ・ 第3回 平成23年3月16日（水） 14：30～16：30



認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



ターミナルケア エキスパートナース編

当院では、日本糖尿病療養指導士（CDE）の資格をもつ看護師4名が、糖尿病看護エキスパートナースとして活動しています。活動は、糖尿病患者会「てん糖むしの会」への支援、糖尿病相談窓口におけるインスリン注射・自己血糖測定などの患者指導、フットケア外来の運営など、糖尿病療養を行う患者さんへの支援などが主な内容です。また、糖尿病患者さんが入院する病棟で



は、糖尿病指導専門に使う学習相談室を設け、患者さんが楽しんで学習できるよう、環境の整備に努めています。

現在、糖尿病看護エキスパートナースの他に日本糖尿病療養指導士（CDE）の資格をもつ9名の職員（看護師・栄養士・薬剤師・検査技師）とチームを組んで糖尿病研究会を開催しています。研究会では、毎月第1木曜日17時30分から地域医療機関の方々とともに、学習会やディスカッションを行っています。



私たちは「深くて広くて温かい糖尿病看護」をモットーに、今後も地域医療機関の方々とともに、糖尿病看護の質を向上していきたいと考えています。

今後とも、ご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

新緑が眼に鮮やかとなり、残雪とのコントラストが美しい季節となりました。山の恵みであるうどやわらびなどの山菜が食卓をも鮮やかに彩り、季節の移ろいを愛でながら心もお腹も満足している今日この頃です。先日山へ出かけた際には、2頭のカモシカと出会いました。人も動物もこの季節を満喫しているようで、心和んだ出会いでした。ふれあい地域医療センターを利用される皆様方に、『ここで相談してよかった。』と感じていただけるような出会いを私たちも心がけております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

ふれあい地域医療センター 滝本 厚子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。
送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp